



神奈川県立鶴見支援学校
地域連携グループ・進路チーム NO. 4
令和7年2月21日発行

ぐっと気温が下がる日もありますが、春のような陽気の日もあり季節の変わり目となりました。手洗いや消毒などの感染症対策をしながら、勉強を進めていけたらと思います。さて、今回の進路だよりでは、学習会の様子を中心にお伝えしていきます。

高等部進路学習会

12月13日（金）に高等部保護者対象の進路学習会を行いました。今年度は、「卒業後の暮らし～住まいと余暇～」をテーマに、“NPO法人つなぐ”の西田ちゆき様と三好靖子様を講師に迎え、お話をいただきました。卒業後に利用できる福祉事業所や計画相談支援などの福祉サービスの種類、利用の条件や手続き、サービス内容といった説明がありました。「暮らし・余暇」の部分では、つなぐで発行している資料や事例をもとに暮らしの場の違い（施設入所、グループホーム、ひとり暮らし）の説明があり、出席した保護者から「暮らしの場の違いが分かった」「うちの子はひとり暮らしなんて、と思っていたが、可能性を感じられた」と言った感想がよせられました。その他知りたいことやテーマなどご希望ございましたら進路担当にお伝えください。

小・中学部進路学習会

1月27日（月）に小・中学部保護者向け進路学習会が開催されました。『発達段階に応じた福祉サービスの利用について』をテーマに本校の地域連携グループリーダーからお話しました。ガイドヘルパーやガイドボランティアなど外出を支援する制度や手続き、卒業後も使える余暇支援の種類、卒業後に向けて繋がっておきたい相談先について等、事例を交えながらの説明でした。アンケートの質問への回答を一部掲載いたしますが、その他ご不明な点、ご心配な点等につきましては、教育相談係までお気軽にお問合せください。

質問）放課後等デイサービスの利用が18歳までなので、それ以降の居場所としてどのようなところが活用できるのか、預かってくれるところがあるのかを知りたい。

回答）ある程度定期的に利用できるのは、ガイドヘルパーによる移動介護です。通所先から自宅に帰る途中でどこかに寄ってもらって、指定した時間に帰るようにしてもらいます。また定期的な利用は難しいですが、居場所としては、入所施設で行っている「日中一時支援（一時預かり）」、「短期入所（宿泊）」、横浜市ならば地域活動ホームで行っている「一時ケア（一時預かり）」、「ショートステイ（宿泊）」などがあります。

質問）高校生になるとスクールバスの利用が難しくなる場合があると聞いたことがある。その場合、自力登校をどのように進めていくのか知りたい。また、他のご家庭ではどのように対応されているのかについて詳しく知りたいと思っています。

回答）自力通学を目指したい、自力通学練習を始めたい場合は、まず担任へその旨をお伝えください。「通学実態表」「自力通学練習届」をお渡ししますので、記入して担任にご提出ください。児童生徒の実態に合わせて、保護者と担任とが十分に話し合っ、段階に応じた練習計画を立てて実施します。部分的な練習をする場合も同様です。基本的には、保護者と担任とで連携をとりながら進めていきますが、練習するにあたり、中には少し離れたところから見守っていただくヘルパーさんをつけたりするご家庭もあります。詳細につきましては、指導支援グループリーダーまでお問合せください。

新規事業所開所のお知らせ

「就労移行支援事業所ピース第Ⅱ新横浜」が令和7年4月1日に B 型事業所を開所します。見学希望の方は、いつものように進路を通してお願いします。